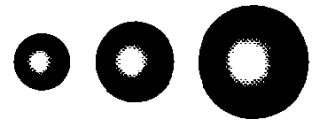


# Hand in Hand 21 Plus

## ハンド・イン・ハンド21プラス

名取市男女共同参画情報紙

プラス9号 2010年8月



平成14年度を初年度にスタートした、「名取市男女共同参画計画・Hand in Hand 21」は、平成22年度に目標年度に達します。

本計画は次の6つの基本目標をもってスタートしました。

- (1) 男女共同参画社会に向けた意識改革
- (2) 男女が尊重し合える社会の実現
- (3) 政策・方針計画の場への女性の参画
- (4) 家庭生活における男女共同参画の促進
- (5) 地域における男女共同参画の促進
- (6) 就業における男女共同参画の促進



\*\*\* ハンド・イン・ハンドには、「手に手を取って」「協力して」「相伴って」という意味があります。\*\*\*

名取市男女共同参画計画は、「<sup>ひと</sup>女と<sup>ひと</sup>男、互いに認め、ともに輝きともに創る」の基本理念にもとづき、実現へのスタートを切って9年目を迎えようとしています。

### 多文化から見た日本・名取とは

国際交流協会 ともだち in 名取

会は発足からこれまでの3年間、“国際交流ボランティアグループ ともだち in 名取”として名取市内を中心に国際交流活動を推進してきました。さらに、今年5月には、“国際交流協会ともだち in 名取”と発展的に改称しさらなる活動をするようになりました。現在、会員112名が共生支援部、日本語講座部、多文化交流部の3つのいずれかに参加し、活動しています。



会員の構成は、男性が46%、女性が54%です。会員の外国人は圧倒的に女性が多く、そのほとんどが日本人男性と結婚しています。また、様々な国の方が名取市内にも在住・勤務されており、現在約340人の外国人の方が暮らしております。「豊かで活力ある社会を築いていくためには、男女が社会の構成員として、あらゆる分野に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現」と「多文化共生」は非常に近い考え方ようです。

《 [http://blog.canpan.info/tomo\\_in\\_natori/](http://blog.canpan.info/tomo_in_natori/) 》



# 多文化から見た男女共同参画の名取市での現状

今回は、「市民と海外出身者の交流を通じて、双方向で異文化を学びあい 協力して住みよい国際都市名取での共生を目指す」国際交流協会ともだち in 名取の協力を得て、会員の方に多文化から見た日本・名取の印象を伺い、男女共同参画を探ります。

国が違えば、文化も違う。これは私たちが日ごろ実感することです。その一つとして「呼称」についてみましょう。アメリカでは未婚の女性は Miss (ミス)、そして既婚の婦人は Mrs. (ミセス) と呼んできましたが、1970年代に強まったフェミニズム運動により、現在公的な文書の中では Ms. (ミズ) だけを使います。

我が国でも学校教育の面で、出席簿の男女混合化が議論されてきており、(以前、男児に「君」女児に「ちゃん」付けされていたものを) 現在、小学校の約30%が「さん」付け統一をしていると伝えられています。また、研究(日本語ジェンダー学会誌6号研究論文)によれば、配偶者の呼称では、主婦が自分の配偶者のことを第三者にどう言うかについては、改まった場合では「主人」が79%、次いで苗字が14%になるといいます。

さらに日本では、夫婦が「おとうさん」「おかあさん」といった父称、母称で相互に呼び合うことが一般的です。

外国人のみなさんはどのような呼び方をしているのでしょうか？



日本語講座受講後に  
名取市市民活動支援  
センターにて  
～専業主婦として  
子育て中のルシアさん  
(ご夫婦ともにブラジル  
出身で日本在住19年)～

**ルシア** 男性は外で働き、家の中のことは全部女性だね。掃除や炊事を手伝う若いパパイも少しはいる。うちでは、パパイはきれい好きだから時間があれば掃除もするよ。上手なのは私だけだね。パパイは料理も上手で、フェイジョア・ダ(ブラジルの国民食の煮物)が得意です。そのほか何でも出来るから、子どもはパパイが大好きです。それから、ブラジルでは何でも二人で相談して決めるね。

**順子** 何をするときにも、中国は二人で協力するから日本で男性が台所に入らないことに驚いた。中国に行ったときに、伯父さんが掃除をするのを見てきたうちの子どもから、「すごいよ-」と報告された主人は苦笑いをしていましたよ。

**俊夫** 日本に来て驚いたのは、男性が台所に入らないこと。中国には料理の出来ない男性はほとんどいない。うちは、時間のあるほうが家事も子どもの世話もします。中国の男性は大変です。うちは二人とも中国人だから中国のやり方でお互いに協力しているけど、日本の男性は楽だなあと感じるよ。

**春美** 韓国では、ドラマだけでなく本当に男性はとっても優しいです。先進国だと思っていた日本がまだ封建的なことに多いのに驚きました。韓国でも昔は男性が強かったけど、世界の考え方や、テレビなどの影響で男性も積極的に家庭の仕事をするようになり、優しい言葉をたくさんかけてくれます。日本はこれからですね。

あなたの国では、女性の働く環境はどうか？

**俊夫** 夫の転勤がほとんどないので、妻も長く働きやすいです。昔からどんなことも夫婦・家族で助けあい、週末はどちらかの親の所に行きます。だから中国は息子・娘に関わらず、親はどちらも助けますよ。南の地方では朝4～5時頃から(東北では6時頃)屋台が出ていて、そこで朝食をとることが、だいが女性の助けになっていると思うよ。中国の妹、弟の家庭も全て協力してるね。

地方・民族の違いにより様々な考え方・生活習慣が存在します。ここで話された方々のお話とその国の事情の全てではないと思いますが、異文化に触れ、比較をすることで名取の生活のあり方を考えやすくなるのではないのでしょうか・・・

**順子** 屋台で朝食をとるから身支度して出勤しやすいしね。お昼も会社に食堂があるか、なければ近所に屋台があり、必ず暖かいものを食べることができる。日本で冷たいものを詰めたお弁当を食べることに一番驚きました。専業主婦はよっぽどのお金持ちだけです。その人は家事もパートを頼みます。中国では働く・働かないに関係なく保育所に子どもを預けられるのが女性にとってもありがたいことですね。

**ルシア** ブラジルでも専業主婦は減ってきましたが、子どもを見てもらえる人が働きやすいです。私は仕事をやめて子育て中。検診や通院が辛かった。全て分からないし、アパートの人はプリントを一緒に読んでくれ優しいけど独身なので、子どもと一緒に交流できる人がいなかった。今は小学校の先生が、親子の良い相談相手になって助けてくれています。日本語を勉強し始めてともだちができて楽しいことが出来た。大事だよ、みんなとお話が出来ることって。

**トゥラ-シー** 男性は会社や農業で外へ、女性は収穫などの軽作業を手伝うこともあるが、多くは家庭のことをしています。例えば妻が仙台に行きたいと言っても夫がOKしないと行けないネパールでは、教育を受けた少しの女性しか外で働けません。男性人口の2%が二人の妻がいるネパールでは一般的に男性に強い権力があるので、日本の様子を見て女性の方に力があると感じてびっくりしました。私は時間があればいつでも妻を助けたいと思っていますよ。

**ナンダ** 公立の学校も近くにありますが、将来のためにより良い教育受けさせたいから、子どもは祖父母のもとでネパールの私立学校に通学しています。名取は大好きですが日本はインターナショナルスクールの学費が高すぎて、子供と一緒に暮らすことはなかなか難しいのが残念です。



名取市本郷 インド料理 サニアにて  
～店長のトゥラ-シーさん・ナンダさんご夫妻  
(ネパール出身で日本在住6年)～



名取市上余田 マサン中国物産にて  
～経営者の俊夫さん(ご夫婦ともに中国出身で日本在住2年)と、  
専業主婦として子育て中の順子さん  
(日本人と結婚・中国出身で日本在住10年)～

夫婦間で相手に変えてもらいたいこと・  
伝えたいことは？

「相手も頑張っているのは分かるから、何も言えない。私も頑張る。」「何か一緒にしたいですね。」「もう少し、自分のことは自分でできるといいと思う。」「ありがとう。と言ってくれるだけでもっと頑張れるんだよ。」「日本語の書類を一緒に読んでくれたら嬉しいな。」「いつもありがたいと思っています。言わないだけ。」

## コミュニケーション不足？

国の違いが原因ではない。なぜなら日本人夫婦の家庭でもこの多くが当てはまります。また、多文化の家庭でも問題なく暮らしている家庭も多くあるはず。今回の取材で、「言わなくても分かっているだろう」と、「察する」ことに頼りすぎている文化で育った日本人の特徴が垣間見えました。さらに、「喜びも責任も分かち合う男女共同参加社会の実現」のヒントは家庭内にもあったようです。皆さんに多角的なご意見を聞かせていただき、互いの特性、能力を認め合い、共に同じ目標に向かい協力することが大切だと気づくことが出来ました。

家庭内の夫婦における仕事の分担は  
どうしていますか？

# 「標語」を募集します!!!

## テーマ

身近な暮らしの中で、「女だから・・・」「男だから・・・」といった固定的な考えや社会習慣に縛られることなく対等なパートナーとして、いきいきと生活できる社会をつくっていくイメージを題材とした標語。

地域・職場・家庭・学校などさまざまな分野において、男女がそれぞれの能力を生かして活躍している様子を伝える標語。

## 応募規定

- ・ 他のコンテストに応募していない、未発表で自作のものに限ります。
- ・ 一人何作品でも応募できます。(入賞作品は、一人一作品とします)
- ・ 応募作品は返却しません。
- ・ 応募作品の著作権は、名取市に帰属します。

## 締切日

平成22年8月31日(火)必着

## 結果発表

10月上旬頃までに受賞者に直接通知します。入賞作品は男女共同参画イベント時の展示や情報紙への掲載を予定しています。

市内・市外・勤務先は  
問いません。どなたでも  
応募できます!



## 応募方法

郵送・FAXまたは名取市のホームページの専用フォームから応募できます。応募作品(作品に対する思いがあれば、お書き添えください)、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業(学校名・学年)、電話番号を記入の上、応募してください。

## 個人情報について

応募の際に提供された個人情報は、作品の選考及び受賞者への通知、結果発表等の目的のみに使用し、ご本人の承諾なく第三者に提供しません。

## 賞



- 最優秀賞 1点  
賞状及び賞品  
(20,000円相当の賞品)
- 優秀賞 1点  
賞状及び賞品  
(10,000円相当の賞品)
- 入賞 10点  
賞状及び賞品  
(記念品)



## 問い合わせ・応募先

〒981-1292 住所不要  
名取市役所  
男女共同・市民参画推進室  
「男女共同参画標語コンテスト」係  
TEL : 022-384-2111 (336・337)  
FAX : 022-384-9030  
市のホームページ:  
<http://www.city.natori.miyagi.jp>

